

アジアン・ビート（香港編）オータム・ムーン（1991）

ASIAN BEAT: AUTUMN MOON

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本／香港

時間 107分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

シリーズ最終回にして異色の逸品。主人公トキオと香港人少女とのふれあいを通して、現在の香港における家庭事情の問題点が淡々と語られている。それはある意味で非常に現在の日本と似ているし、ストーリー上特にドラマチックな事件も無いだけに、より一層リアリティが感じられる。“間”の使い方が抜群に巧い。テーマのわりに全体に乾いて洗練された印象の作品だが、トキオの絡みのシーンが妙に動物的だったり、食事のシーンがやたらと多かったりと、人間の切なさをうまく表現している。作中常にビデオカメラを持ち歩き門外漢を気取っている主人公が、孫や家族に向けて語る老女の姿を映すシーンは印象的。そこが、主人公トキオが初めて自分の人生から逃げることをやめようと決意する分岐点である。現実を生きることによって少々疲れぎみの人には、きっと沁みる所があるはず。

【クレジット】

監督	クララ・ロー	
監修	林海象	Kaizo Hayashi
企画	林海象	Kaizo Hayashi
製作総指揮	勅使原煌	
原案	林海象	Kaizo Hayashi
脚本	フォン・リンチン	Fong Ling-Ching
撮影	トニー・チャン	Tonny Cheung
音楽	ロー・イー	
出演	永瀬正敏	Masatoshi Nagase
	リ・プリ・ワイ	
	チョイ・シウクン	
	木内マキ	
	サン・チンハン	